



都道府県記者クラブ同時配布資料



令和2年6月4日(木) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
地域振興課	移住定住係	堀 上手	内線 2057 直通 058-272-8078 FAX 058-278-3530

移住希望者向けのオンラインセミナーを初開催

県では、人口減少社会においても地域が活力を保ち続けられるよう、各種移住定住施策を推進しています。

このたび、令和2年度第1回目の「清流の国ぎふ暮らしセミナー」を下記のとおり開催します。県が主催する移住希望者向けのオンラインセミナーとしては初の開催となります。

記

1 開催日時 令和2年6月6日(土) 10:00~12:00

2 開催場所 ウェブ上(ウェブ会議システムZoomを使用)

3 テーマ 岐阜県の暮らしと農林業

4 講師 県移住相談員(東京・大阪・名古屋)

清流の国ぎふ移住定住サポーター(4名)

いとう しょうた 伊藤 翔汰 氏(合同会社LOM(ロム)代表社員・森林デザイナー)
こいけ なつみ 小池 菜摘 氏(Koike lab.)
はせがわ ゆうみ 長谷川 優美 氏(古川林業)
なかむら ひろき 中村 宙樹 氏(下呂市地域おこし協力隊)

ぎふアグリチャレンジ支援センター、岐阜県就農支援センター

森のジョブステーションぎふ、県立森林文化アカデミー

岐阜県総合人材チャレンジセンター

※講師のプロフィールは別添資料をご参照ください。

5 内容

- 「清流の国ぎふ移住定住サポーター」が岐阜県の住環境や実際の暮らしぶりを説明。
- 岐阜県の農林業の魅力や他県との違いを説明。
- 相談員等による移住定住相談。

6 参加費 無料

7 申し込み 岐阜県移住定住ポータルサイト「ふふふぎふ」内イベントページの申し込みフォームや電話から申し込みできます。

問い合わせは清流の国ぎふ移住・交流センター(東京)まで。

(TEL: 080-7749-3317)

清流の国ぎふ移住定住サポーター講師プロフィール

- いとう しょうた 伊藤 翔汰 合同会社LOM（ロム）代表社員・森林デザイナー

林業系音楽家。地域おこし協力隊として、本巣市根尾に移住。森林率86%の地域にも関わらず、木材生産が盛んでない事に疑問を持ち、小規模で持続可能な自伐型林業の実践を行っている。その傍ら、森の音楽会や森林セラピスト、オーボエやギターの演奏など林業以外の活動も行い半林半Xな生き方をしている。

- こいけ なつみ 小池 菜摘 Koike lab.

中津川市坂本（リニア岐阜県駅の地域）でカメラマンをしながら、農業経営、菓子/惣菜工房で規格外野菜をつかった農家ならではのものを企画・製造・販売。プライベートでは、3才女兒の母をしながら、彼女のふるさととしての恵那山麓地域を想い「恵那山麓LOVERS」というコミュニティの運営も。毎月1日にMEETと題して、五平餅づくりや焼き芋パーティー、ほう葉寿司など、この地域ならではの食と対話を目的とした会を開催している。

- はせがわ ゆうみ 長谷川 優美 古川林業

郡上市の古川林業で、林業の現場作業員として従事。仕事内容は、チェーンソーでの伐採作業や、重機の運転など様々。また、林業女子会@岐阜のメンバーとしてイベントに参加したり、高鷲林業グループの活動で林業体験のスタッフをしたりしている。

- なかむら ひろき 中村 宙樹 下呂市地域おこし協力隊

都会で飲食店のオーナーシェフをしていたが昔からの憧れ、「田舎のでかい古民家で店がしたい！」という想いが妻の出産と同時に再燃。1年後家族と共に下呂市へ移住。ある時は芝居小屋「白雲座」の地歌舞伎役者、またある時は「龍神火祭り」の椀みこしを担ぐなど「お祭り男」の一面もあるが本業は料理人。現在、「地賛地笑」と「百笑一起」の精神で総菜屋開業を目指しながら古民家改修工事中。